

2006年9月15日

会社名	株式会社	高島屋
代表者名	取締役社長	鈴木 弘治
コード番号		8233

2006年8月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

株高島屋計	分社4店含む実質
+1.8	+2.3

8月度は百貨店事業、広域事業ともに前年売上実績を上回り、分社4店含む実質では+2.3%となった。前年実績のクリアは昨年9月度以降、12か月連続となった。

※分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+1.2	+1.8

厳しい暑さで盛夏向けのファッション商材が順調であったことに加え、宝飾品や美術等の高額品の動きも良く、18店計の売上高は+1.8%となり、11か月連続のプラスとなった。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大阪店	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	△0.7	+3.6	△5.8	+1.5	+27.5	+2.5
入店客数	△2.7	△1.1	△0.8	+1.0	+28.2	△2.5

※大阪店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

※大阪店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+4.7	+1.4	△1.3	+2.3	△1.1	+6.4	+0.6	+6.6
入店客数	△1.5	+4.2	△4.3	+0.9	△6.7	+2.4	△4.8	+0.6

※横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

※横浜店の入店客数は単店になります。

関西地区は、9店中6店が前年実績を上回り、2か月ぶりに前年実績をクリアした。大阪店は衣料品や雑貨等の盛夏商材は好調に推移したが、宝飾品、呉服、食料品等の伸び悩みにより、前年実績を僅かに下回った。京都店はレストラン街改装工事の影響があるものの、特選衣料雑貨や紳士・婦人服、雑貨等が好調で前年実績をクリア。一方、泉北店は婦人服・婦人雑貨等が改装工事の影響を受けて低迷した。その他、リニューアル効果が持続する岐阜店は11か月、洛西店が6か月連続で前年を上回った。

関東地区では、9店中7店が前年売上実績を上回り、12か月連続のプラスとなった。東京店は紳士・婦人服や雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品等が売上を伸ばし、4か月連続で前年実績をクリア。横浜店は呉服やリビング等が伸び悩んだが、紳士服が前年から売上を2桁伸ばした他、宝飾品、美術、食料品等も順調で16か月連続の前年実績クリアとなった。一方、新宿店は紳士・婦人雑貨や食料品、宝飾品等が好調なものの、特選衣料雑貨やリビング等が伸び悩み、2か月ぶりに前年実績を下回った。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域事業計
売上高	+8.6	+15.9	+10.4

法人事業は、企業向けの販促品等で新規物件や大型物件の計上により前年売上実績を上回った。通販事業は婦人服や雑貨、食料品等が好調で、前月に続き2桁の売上プラスとなった。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)】(前年対比、単位：%)

	株高島屋計	分社含む実質
紳士服・洋品	+2.0	+2.1
婦人服・洋品	+2.3	+2.9
子供服・洋品	+0.7	+0.8
その他衣料品	+4.3	+3.0
衣料品計	+2.3	+2.6

	株高島屋計	分社含む実質
身のまわり品	△0.3	+0.2
家具	+0.5	+0.2
家電	△10.2	△10.6
その他家庭用品	+1.3	+1.6
家庭用品計	+0.5	+0.6

	株高島屋計	分社含む実質
食料品	+2.8	+3.6
食堂・喫茶	+1.6	+3.4
雑貨	+2.7	+3.3
サービス	△1.6	△1.4
その他	△0.8	±0.0
合計	+1.8	+2.3

〈当社分類による百貨店事業の商品別概況〉

ファッションアイテムに関しては盛夏商材や初秋向け商材の立ち上がり状況が順調で、紳士服(前年対比+4.3%)ではショップゾーンを中心に秋色夏素材のシャツやジャケットが好調であった。婦人服(同+0.5%)ではトレンドアイテムのワンピースやジャケットが好調なほか、秋物商品としてヤング・キャリアゾーンでロング丈のセーター等が動き出した。婦人雑貨(同+4.9%)は帽子、サンダル、サングラス等の盛夏商材が伸び、婦人靴、婦人アクセサリ、ハンドバッグ等の主要アイテムも順調であった。その他、美術(同+11.9%)、宝飾品(同+5.5%)、食料品(同+3.7%)、紳士雑貨(同+3.0%)等が前年実績を上回り、子供服等(同△4.3%)は前年実績に至らなかった。